

## 弁天座

平成の芝居小屋  
明治・大正・昭和の時代にまちの娯楽施設として親しまれた「弁天座」を平成19年に復活。回り舞台やすっぽん・空戸など本格的な設備を備えた芝居小屋でありながら、地域の交流拠点としてさまざまな形で利用されている多目的施設です。

- 赤岡町795番地 ☎ FAX 57-3060
- E-mail bentenza@me.pikara.ne.jp
- 営業時間 9時～22時  
【貸し館受付:17時まで】  
※貸し館利用のない日は17時30分まで
- 休館日 月曜日  
※月曜日が祝日の場合は翌日

## 絵金蔵

まちと歩む美術館  
家々に保存していた23隻の屏風絵をまちの宝物として収蔵し、後世に残すために作られました。もとは政府指定の米蔵で、平成17年2月に「絵金蔵」として生まれ変わり、地域とともにさまざまな形で絵金の魅力を発信しています。

- 赤岡町538番地 ☎ FAX 57-7117
- E-mail ekingura@mxi.netwave.ne.jp
- 開館時間 9時～17時  
※入館は16時30分まで
- 観覧料 大人500円・高校生300円  
小・中学生150円  
※15人以上の団体は各50円引き
- 休館日 月曜日 ※月曜日が祝日の場合は翌日

## 土佐絵金歌舞伎伝承会

まちの芝居好きが集まって、絵金に描かれた歌舞伎の演目を演じるというコンセプトで誕生したのが「土佐絵金歌舞伎伝承会」。絵金祭りに合わせて平成5年からJ A土佐香美の出荷場で、19年からは復活した芝居小屋「弁天座」で毎年上演しています。

今年の演目は、歌舞伎の三大名作の一つ「義経千本桜 鮎屋の段」。悲しく意外な結末と親子の情が心を打つ舞台です。絵金祭りに向け、ただ今猛練習中！

小学生の子どもたちも演じます。

守る。伝える。結ぶ。



知っててもらいたい！

祭りの日は、傷んでもホンモノを出す。  
かつての姿を静かに守り続ける祭り、時代とともに賑やかに発展する祭り。静と動二つの祭りの夜、寿命を縮めて浮かび上がる絵金のエネルギーに満ちた芝居絵屏風は、みる人の目にその姿を鮮やかに焼き付け、地域の人たちの心を動かしてきました。

### 絵金夜市から

絵金祭りが始まったのは、今から三十三年前の昭和五十二年。

そのころの赤岡町は、新しい国道ができて人の流れが変わり、商店街から客足が遠のき始めていました。活気がなくなっていく商店街に、何とか賑わいを取り戻そうと、当時の商工会の人たちが中心になって興したのが「絵金祭り」です。

窪川町(現四万十町)の土曜夜市を参考に、最初の一年は「絵金夜市」という名前で開催しました。そして客寄せに一年目は横町だけの芝居絵屏風を並べ、二年目からは本町のものも並べ、ピアホールやうなぎ釣りなど様々なイベントを企画しました。絵の解説を始めたのは、十年ほど経ってからで「絵金のことをたくさんの人に知ってほしい」と、地域の人たちに「語り部講座」を開き、屏風絵を所蔵している家の人がそれぞれに絵金を学ぶようになりました。

### 絵金はまちの宝

絵金の芝居絵屏風は、一年に一度とはいえ百数十年間、湿気の多い夏の夜、外気にさらされ、かなり痛んでいたものもありました。それでも、絵金の絵は色あせることなく鮮やかな色を放ち、奔放なエネルギーに満ちています。

当初は商店街を盛り上げるために興した「絵金まつり」でしたが、地域の人たちが「語り部講座」などで学び、絵師・金蔵その人と作品の異なる魅力を客観的に評価するようになり、屏風絵の修復と保存が地域の課題となりました。

祭りの日には本物を出す。絵が傷んでも伝統は守る。修復しながらでも、年に一度は、本物の絵金の絵を味わってもらいたい。しかし、修復には多額の費用がかかるため簡単なことではありません。

そんな思いが、まちに残った23隻の芝居絵屏風の保存と収蔵の施設「絵金蔵」の建設と、県の文化財指定につながりました。

問い合わせ 絵金祭り実行委員会(香南市商工会内) ☎ 54-3014



### 第三十三回 絵金祭り

年一度、この日に限りまちに残る芝居絵屏風23隻が各所蔵者の家の軒先に並びます。  
ピアガーデンや屋台、お化け屋敷など、イベントもにぎやかに盛りだくさん。祭りに合わせ、絵金蔵も夜間開館いたします。

日時 7月18日(土)・19日(日) 午後6時より  
場所 赤岡町本町・横町商店街  
駐車場 香南市商工会・赤岡保健センター  
ポートピア土佐ほか

### 須留田八幡宮の宵宮祭り

江戸時代末期から続く須留田八幡宮の神祭。氏子の家の軒先に17隻の芝居絵屏風が並びます。賑やかな絵金祭りとは違った趣で、揺らめくろうそくの炎が静かに芝居絵を照らす伝統の祭りです。  
ゆっくりと絵をご覧になりたい方におすすぬ。

日時 7月14日(火)・15日(水) 日没より21時頃まで  
場所 赤岡町本町商店街  
駐車場 香南市商工会・赤岡保健センターほか



絵の中の女どうしのケンカはスゴイ迫力！  
私たちこんなケンカはしませんけど…  
同じポーズはとても無理↓

中学生記者が扮する  
小坂部姉妹



▲絵金の描いた小坂部姉妹

### 同じポーズに挑戦！

絵金の描いた「蝶花形名花島台」の屏風絵の中で、小坂部姉妹(長宗我部元親の娘姉妹がモデル)が髪を振り乱し、つかみ合いの大げんかをする場面。絵金は、実際に人間ができないポーズで、人物をより生き生きと美しくあでやかに表現しています。

えっ！  
私たちが  
ケンカする姿も美しい？